

～ 地域の皆様と当院をつなぐ広報誌 ～



はなみずき



2018 NEW YEAR

Contents...

- ・ 新年のご挨拶
- ・ 当院スタッフ新年の抱負集 2018
- ・ さわい病院ってどんな病院？
- ・ ご案内



医療法人社団 博慈会 青葉さわい病院

〒225-0004 神奈川県横浜市青葉区元石川町4300

<http://aoba-sawai.or.jp>

TEL:045-901-0025 FAX:045-901-0023

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



青葉さわい病院 理事長
澤井 博司

あけましておめでとうございます。皆さま新しい年を希望に満ちてお迎えになられたことと存じます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年2018年は医療界にとっては惑星直列の年と評されるほどの重要な出来事が予定されている稀有な年であると言われております。第7次医療計画、介護基本計画の作成、新専門医制度開始、医療介護報酬同時改定など枚挙にいとまがないほどであります。昨年地域医療構想元年として必要病床数に振り回された1年でありましたが、横浜の基準病床数も当初の6000床不足から600床程度に落ち着きそうでありました。しかしながら、医療資源の枯渇した状況に変わりはありませんので、決して拙速に新病院建設や増床に走ることが無いように医師会、病院協会でも周知を図りながら、当院といたしましても現有のスタッフで力を合わせて、地域医療を守るために、改めて当院の理念に立帰り頑張っていきたいと思ひます。

2025年問題の解決のために国は施設医療から在宅医療に大きく方向を転じてまいりましたが、満足できる在宅医療の完成は口で言うほどやさしいことではありません。スタッフや医療機器を集約し効率よい治療がなされる施設医療と異なり、医師看護師が

チームを組んで患者さんの住居を訪れるデリバリー医療は、むしろコスト高になる非効率な医療であります。

また在宅医療には時々入院ほぼ在宅と言われるごとく同居家族の介護力に大きく依存しており、独居高齢者の多い現在、施設での医療の必要性は全く減りません。またそもそも絶対的に在宅医が少ないのです。過酷な労働環境から在宅医療に乗り出そうとする医師は増えておりません。24時間365日を開業医に求めるのは現実として不可能であり、働き方改革を唱える国の方針からいっても早晚破たんするものと思ひられます。療養病床の必要性は変わらないと確信しており、各病院がそれぞれ数パーセント病床利用率数を増やすことで20年頑張れば、人口減少とともに自然と落ち着いてくるでしょう。

当院では地域包括ケアシステムを支える一病院としてなにができるのか、そのありかたをみんなで真剣に議論してまいりました。第7次医療計画の6年間は非常に重要な期間であることには変わりありません。そのためにも職員一人一人が力を合わせて、日々の患者さんのケアに上から目線になることなく、地道に誠意をもって努めてまいり所存であります。

2018年が皆様にとって素晴らしい年でありますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



青葉さわい病院 病院長 澤井 崇博

旧年中は大変お世話になり、ありがとうございます。

青葉さわい病院は昨年12月で開院より満12年となりました。ここまで来られましたのも地域の皆さまの温かいご支援によるものであると日々感じております。まずはこの場を借りて御礼申し上げます。

新しく2018年となりましたが、今年は皆さまご存知の通りの診療報酬改定があり、医療情勢としましてはますます厳しいものとなることが予想されます。そこを乗り切っていくには、まずは地域の皆さまから選ばれる病院でなければならないと思っております。青葉区のこの地域での当院の立ち位置を再度確認し、その中でどういう形で貢献出来るかを改めて考える必要性を感じております。また、医療、看護、介護サービスの提供だけでなく、ホスピタリティとしても当院ならではの形を見つめ直し、明確にして発信していき、その上で数ある病院の中から当院を選んでいただければ大変嬉しく思います。

そういう意味では近隣の医療機関とは切磋琢磨する間柄ではありますが、当院のみで完結することは不可能であり、やはり連携というものが重要となります。お互いの強み弱み、この地域での役割をきちんと理解した上での、より強固な連携が必須と考えております。地域の一員として、この地域での医療、介護の一端を皆さまと一緒に担っていくようより一層の努力をしていく所存でございます。

本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



断捨離

山手線一周
歩く!!!

ファイアンセを
見つける!

貯金。

ゴルフの名人に
なりたい

患者さんの為になる
栄養指導をする

当院スタッフの
新年の抱負を
集めてみました!

老化防止
老眼脱却

この病院に来て
良かったと思つて
もらえるような
看護を提供する



皆様のご多幸をお祈り申し上げます
本年もどうぞ宜しくお願いいたします

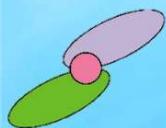
ミシンを
使いこなしたい

犬を
飼いたい

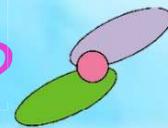
幸せな家庭を作る「土台」を作る

青葉さわい病院
職員一同





さわい病院ってどんな病院？



「地域に密着した病院」として、外来診療、
一般病棟（急性期）⇒回復期リハビリ病棟⇒療養病棟を持つ
ケアミックス型の病院です。

整形外科は勿論、内科専門診療も充実しているのが特徴です。



当院外来診療科紹介



整形外科

中高生のスポーツ中のけがから高齢者の骨粗しょう症まで、さまざまな症状を診察します。特に骨粗しょう症は骨折にもつながるため、新しい検査機器や薬剤を積極的に取り入れて、患者に合わせた治療を行っています。



足の外科専門外来（予約制）

足の痛みに対し、靴の中敷きを使用することで改善出来るよう、一人ひとりの足に合わせた治療をしております。



内科

風邪や頭痛など一般的な内科疾患だけではなく、生活習慣病やその早期発見のための健康診断にも力を入れ、早期発見・治療に努めています。些細なことでも気軽にご相談ください。地域のホームドクターとして、なんでも話せる雰囲気をつくっていきます。



消化器内科

消化器の炎症や感染症、がんなどを専門的に診療する消化器内科です。中でも特に内視鏡検査においては精度の高い診断や経鼻内視鏡の導入などにより、がんの早期発見・治療に注力しています。



糖尿病内科専門外来（予約制）

栄養科やリハビリテーション科と連携し、治療のためにどこまで生活を変えられるか相談し、生活設計を一緒に考えていきます。必要な方には教育入院をお勧めし、外来ではできないような体の調整をすることが可能です。



地元に根付いた地域活動



訪問リハビリ

在宅で療養されている方を対象とし、病気やケガのために通院が困難な方に対してリハスタッフが直接ご自宅に訪問します。



栄養訪問栄養指導

栄養問題の抽出、家族や対象者の意向等の調整、栄養についての相談、助言、提案などを行います。



医師・リハ・栄養科等の実習生受け入れ 高校生の看護体験実習の受け入れ

実習生の受け入れや、地域高校の看護体験実習の受け入れ、新卒・ブランクがあるけどまた働きたいといった方の中途採用後の教育にも力を入れています。



リハスタッフによる医療講演 岡崎医師の糖尿病教室

地域ケアセンターなどで活動する高齢者を対象としたリハ・栄養科スタッフによる医療講演を不定期で行っています。また、昨年好評だった岡崎医師による糖尿病教室が新年よりバージョンアップし開催されます。



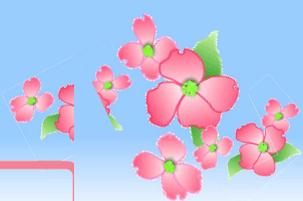
◆◆編集後記◆◆

はなみずきが復活して、二度目の新年を迎えることとなりました。
ところで、日本では、新年になるとおせち料理を食べる風習がありますが、おせちとは何なのか、おせち料理にはどんな意味があるのかを知っていますか？
『おせち』とは暦上の節句のことで、その際に食べる料理を『おせち料理』と呼ぶのです。一年の初めに豊作を祈って作られた料理、武家の祝膳、新年を祝う庶民料理が集まっておせち料理となります。料理のそれぞれには意味があり、例えば『黒豆』は丈夫で元気に働けますよという意味が込められ、『昆布巻』は昆布と喜ぶという言葉をかけて縁起が良いとされ、『栗きんとん』は見た目から「黄金の塊」とされ商売繁盛の願いが込められています。おせち料理を食べる時は、味だけでなく、料理の一つ一つに込められた意味を知り楽しく食卓を囲んでみるのも良いのではないのでしょうか。

青葉さわい病院 はなみずき 有志
看護師：幕内 地域連携室：尾辻,碓井 管理栄養士：山本 リハビリ：小川,糊澤 看護部長：中村



ご案内



外来医師担当表

整形外科	月	火	水	木	金	土※
午前 9:00～12:00	荒尾 誠	澤井 博司 (理事長)	澤井 博司 (理事長) 【予約制】 齋藤 滋 (足の外科・装具専門外来)	齋藤 滋	澤井 崇博 (病院長)	荒尾 誠 / 齋藤 滋 (交代制)
午後 2:00～5:30	澤井 崇博 (病院長) 【予約制】 齋藤 滋 (足の外科・装具専門外来)	齋藤 滋	澤井 崇博 (病院長) 【予約制】 齋藤 滋 (足の外科・装具専門外来)	澤井 崇博 (病院長)	荒尾 誠	救急対応
内科	月	火	水	木	金	土※
午前 9:00～12:00	岡崎 優 清田 康	梅谷 洋介	橋爪 洋平 / 安田 透 (交代制)	須郷 慶一 米山 喜平	岡崎 優 (糖尿病専門外来) 清田 康 (第1.3週) 安田 透 (第2.4週)	橋爪 洋平 泉山 仁
午後 2:00～5:30	原 大祐	泉山 仁	須郷 慶一	米山 喜平	高石 智	救急対応

診療時間 / (月)～(金) 9:00～12:00 14:00～17:30
 (土)※ 9:00～13:00 14:00～17:30(土曜午後は救急対応のみ) 受付は30分前からです。

面会時間

13:00～20:00

バス 大場町下車(バス停目の前)

●あざみの駅からバス● (急行、直行は停車しません) ※5～7分間隔で運行

乗り場	系統	行き先	所要時間
3番乗り場	あ23系統	虹ヶ丘営業所 (もみの木台・虹ヶ丘団地経由)	約5分
3番乗り場	あ27系統	すすき野団地(もみの木台経由)	約5分

●新百合ヶ丘駅からバス● ※約20分間隔で運行

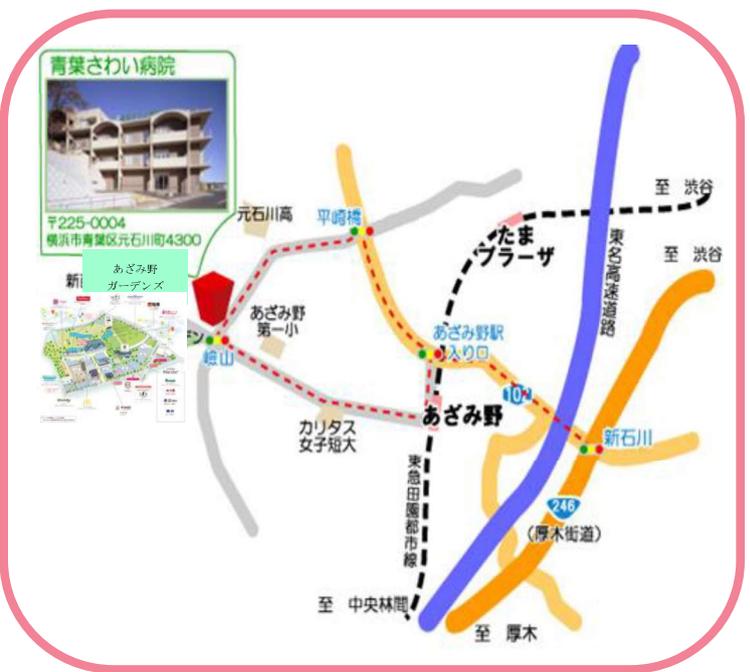
9番乗り場	新23系統	あざみ野駅	約20分
-------	-------	-------	------

徒歩

東急田園都市線あざみ野駅より約2km
 (※あざみ野駅から徒歩で約30分かかりますので、
 病院までは バス等の交通手段のご利用をおすすめします)

車

東急田園都市線あざみ野駅より車で5分
 ※32台収容できる駐車場を完備しております。



お知らせ



青葉さわい病院広報誌では、皆様のご意見や、皆様からの投稿を受けつけております。
 当院広報誌が、より良いものになるよう、是非皆様のご意見をお寄せください。
 当院に設置されている、ご意見箱、または、病院広報部宛てまで、ご投函お願いします！